



第 2 期青森圏域連携中枢都市圏ビジョンの具体的取組について

第 2 期の初年度となる令和 7 年度の取組事業は 52 事業となる予定。

「圏域全体の経済成長のけん引」の役割については、17 事業中 13 事業が継続、ビジョンへの掲載を終了する事業が 2 事業、既に統合済みの 2 事業、新規事業が 1 事業の追加となり、14 事業となる。

「高次の都市機能の集積・強化」の役割については、1 事業中 1 事業が継続で 1 事業となる。

「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の役割については、39 事業中、36 事業が継続、ビジョンへの掲載を終了する事業が 3 事業、新規事業が 1 事業追加となり 37 事業となる。

○具体的取組の増減

連携協約項目の役割	第 1 期	第 2 期				
		継続	終了	統合	新規	反映後
1 圏域全体の経済成長のけん引	17	13	2	2	1	14
2 高次の都市機能の集積・強化	1	1	0	0	0	1
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	39	36	3	0	1	37
計	57	50	5	2	2	52

各事業目標値を設定し、毎年度取組の進捗管理を行いながら、目標値の達成に向けて取り組んでいく。また実績が好調な事業については、中間年に目標値を見直すなど、更なる取組の深化に繋げていく。

第 3 章「中長期的な将来像」を踏まえ、新たな事業の検討を進めるとともに継続する事業は継続しつつ、課題や環境変化に対しては改善、進化させながら、取組を推進していく。